



プロスポーツクラブを中心とした
地域版(愛知県)
SOIP構築について

株式会社 MTG Ventures

代表取締役 藤田 豪

代表プロフィール

MTG
Ventures

代表取締役 藤田 豪



明治大学経営学部卒。

1997年、日本合同ファイナンス株式会社(現:株式会社ジャフコ)入社。2005年より中部支社投資部に異動し、2015年支社長へ就任。22年にわたり、スタートアップからレターステージまでの投資、投資先各社での取締役就任、ファンドの募集など手掛け、自動運転、AI、保育IoTといった分社の企業への投資を行う。

5000人以上の経営者との出会いによって培われた視点をベースに、BEAUTY-TECH、WELLNESS-TECH、FOOD-TECH、SPORTS-TECHの投資に臨む。

中部ニュービジネス協議会 理事

名古屋大学院情報学研究科 客員准教授

株式会社オプティマインド 非常勤監査役

株式会社Psychic VR Lab 社外取締役

株式会社オルツ 社外取締役

H2L株式会社 社外取締役

なごのキャンパスメンター

NAGOYA INNOVATOR'S GARAGE 運営委員

会社概要

MTG
Ventures

We have many dreams **MTG**

私たちは、ブランド開発カンパニーMTGです。

ReFa

TRAINING GEAR
SIXPAD



MDNA
SKIN


PLOSION
de Salon

Style

FACIAL FITNESS
PAO

地域版SOIPの取り組み

◆愛知県を本拠地とするプロスポーツクラブに全国のスタートアップが提案を行う「プロスポーツクラブ×スタートアップ」を2年で3回開催。

5つのクラブが参加。

◆スタートアップが少ないと言われる名古屋にユニークなスポーツテック・スタートアップなどを呼び込むことを目的とし、また全国に先駆けて最もプロスポーツクラブとスタートアップのオープンイノベーションが盛んな地域づくりを目指し、スポーツクラブの魅力向上と地域の活性化を狙った取り組みとしてスタート。

2018年 名古屋グランパス×スタートアップピッチ

2019年 愛知・Bリーグ4チーム×スタートアップピッチ

三遠ネオフェニックス(B1)

シーホース三河(B1)

名古屋ダイヤモンドドルフィンズ(B1)

ファイティングイーグルス名古屋(B2)

2019年 名古屋グランパス×スタートアップピッチ(第二回)

きっかけ

- ◇数年ぶりに名古屋グランパスの試合を豊田スタジアムで観戦。
素晴らしいスタジアムに最下位にもかかわらず、2万人以上の観客を動員。
- ◇その盛り上がりにより名古屋グランパスのコンテンツとしての魅力を再認識し、スタートアップとのオープンイノベーション促進を考案。
- ◇30人の起業家等関係者でスタジアム見学、観戦を実施
 - 第一回目の名古屋グランパスピッチへ
 - ・スタートアップ関係者にとって、名古屋グランパスはいつでも会える身近な存在に。提案の増加。オープンイノベーション加速。
 - ・名古屋にゆかりのない起業家や関係者も、名古屋グランパスファンに。

イベント開催のポイント

- 意思決定権者が出席（クラブ社長が登壇、その場で審査）
各クラブの代表者や幹部の方々に出席頂き、顔を出してもらうことで登壇企業や聴衆として参加している企業やクラブなど、イベント後に継続的な提案が増える状況を作り出し、一過性で終わらない仕組みを作る。
- スポーツテック企業に偏らない登壇企業選定
スタートアップ企業から、選手やチームに対しての提案になりがちだが実現可能性が低くなってしまいうため、スタジアム、ファンエンゲージメント、グッズ収入増、アクセス問題、駐車場問題、フードなど、クラブ運営に関連する幅広い業種のスタートアップ企業に登壇してもらうことで多彩な提案を引き出し、実現可能性を高めていく。
- イベント開催後のフォロー、継続性

スポーツテック・シンポジウム開催概要

中部経済産業局では、スポーツ分野でのイノベーションの促進や各チームの魅力向上によるファンの増加を目的とした「スポーツテックシンポジウム」を、愛知県刈谷市にて開催されるB.LEAGUEの地区別トーナメントカップ戦「アーリーカップ」期間中(9月14～16日)に開催。

主催

中部経済産業局、中部ニュービジネス協議会(共催)、B.LEAGUE・シーホース三河(協力)

プログラム

(1)シンポジウム

1. 開会挨拶:高橋 淳 経済産業省中部経済産業局長

2. 基調講演「B.LEAGUEの挑戦」

講師:大河 正明 B.LEAGUE チェアマン

3. 中部地区(東海エリア)クラブプレゼンテーション

■プレゼンター

・シーホース三河:シーホース三河株式会社 取締役社長 鈴木 秀臣

・名古屋ダイヤモンドドルフィンズ

:名古屋ダイヤモンドドルフィンズ株式会社 代表取締役常務取締役 千葉 洋一郎

・三遠ネオフェニックス :株式会社フェニックス 営業部長兼事業部長 工藤 雄

・ファイティングイーグルス名古屋:豊通ファイティングイーグルス株式会社 代表取締役社長 坂口 肇

4. パネルディスカッション

■ファシリテーター

・藤田 豪(MTG Ventures代表取締役/中部ニュービジネス協議会理事/元JAFSCO中部支社支社長等)

■登壇者

・上林 功(スポーツファシリティ研究所代表/追手門大学准教授)

・上野 直彦(AGI Sports Management (株) 代表取締役/スポーツジャーナリスト)

(2)意見交換会 16:30～

※試合を観戦しながらの意見交換

スポーツテックシンポジウムINアーリーカップ



愛知B.League × Startup Pitch

MTG
Ventures



後日開催したピッチは名古屋駅前にて。各クラブが1社を選定、4社が選出

開催概要

1. 挨拶(株式会社名古屋グランパスエイト 代表取締役社長 小西工己氏)
2. 前回ピッチ優勝者(株式会社寿美家和久)報告
3. ピッチ
4. 結果発表・表彰式

◆ピッチ登壇者(9社・順不同)

- GINKAN ~ 仮想通貨がもらえるグルメSNSで街中で応援
- AirX ~ ヘリシェアリングサービスによるVIP観戦ツアー
- H2L ~ 触感再現XRを使ったリアルサッカー体験
- 電脳交通 ~ 徳島発スタートアップによるMaaS提案
- トライエッティング ~ チケット販売予測シミュレーションAI
- スタメン ~ エンゲージメントを高めるオンラインファンサロン
- FUN LIFE ~ ARミラーによるゲームやトレーニング
- KNOWCH ~ 農業のWEWORKを使った農業×スポーツクラブ
- シタテル ~ アパレル生産プラットフォームとクラブ連携

■定員:80名

主催:中部ニュービジネス協議会、
名古屋商工会議所

共催:なごのキャンパス

協力:名古屋グランパス

30th CNB
NGE × CNB

今年9社の
スタートアップが
小西社長に直ピッチ!

2019 名古屋グランパス×スタートアップピッチ

- 主催 中部ニュービジネス協議会 名古屋商工会議所 共催 なごのキャンパス
- 協力 株式会社名古屋グランパスエイト
- 日時 2019年12月12日(木) 13:00~15:00
- 参加料 無料 定員80名(先着順) どなたでも参加可能
- 場所 なごのキャンパス コワーキングスペース(名古屋市区那古野2-14-1)
- 登壇企業(順不同)

GINKAN ~ 仮想通貨がもらえるグルメSNSで街中で応援
AirX ~ ヘリシェアリングサービスによるVIP観戦ツアー
H2L ~ 触感再現XRを使ったリアルサッカー体験
電脳交通 ~ 徳島発スタートアップによるMaaS提案
トライエッティング ~ チケット販売予測シミュレーションAI
スタメン ~ エンゲージメントを高めるオンラインファンサロン
FUN LIFE ~ ARミラーによるゲームやトレーニング
KNOWCH ~ 農業のWEWORKを使った農業×スポーツクラブ
シタテル ~ アパレル生産プラットフォームとクラブ連携

▼参加申込はこちら

*お申し込み先 中部ニュービジネス協議会 <http://www.cnb.jp/>
*お問合せ先 名古屋商工会議所 産業振興部 水谷、新木 052-223-6750

CNB 中部ニュービジネス協議会
CHUBU NEW BUSINESS CONFERENCE

なごのキャンパス
NAGOYA CHAMBER OF COMMERCE & INDUSTRY

なごのキャンパス
NAGOONO CAMPUS

なごのキャンパス
アクセス
JR/名鉄/地下
鉄東山線・桜通
線・名古屋駅
桜通口より
徒歩8分

名古屋駅

2019名古屋グランパス×スタートアップピッチ



名古屋グランパス小西社長と
優勝したGINKAN神谷社長

2019グランパスピッチ



ピッチ開催後、優勝を逃した各社も個別にグランパス側とのディスカッションを継続している。

- 地域版SOIPの取り組みによって、東京の起業家もプロクラブに提案を行うなら「まず名古屋へ！」という認識に
- イベント以外での継続的なクラブと起業家との交流が出来るように
- これまで実施していない他競技のクラブからもピッチ開催希望が
- 他地域のクラブも見学にこられ、クラブ同士の情報交換も活発に
- いくつかの取り組みは「日本初」の実現に向けて動き出している
- クラブ側もスタートアップからの提案を受け続けることで、対応力も上がり新たな商品、サービスがスピードを持って次々に実現

- 今後も、クラブ数や競技数も増え、地域版SOIP先進地区として継続的に発展させていくことで、クラブや街の魅力向上に取り組んでいく。